

平成29年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	ミリ波サブミリ波帯輝線銀河の無バイアス探査に基づく隠された宇宙星形成史の研究
研究代表者	河野 孝太郎 (東京大学・大学院理学系研究科 (理学部)・教授) ※平成29年6月末現在
研究期間	平成29年度～平成33年度
コメント	<p>本研究は、天文学の最重要課題の一つである宇宙の若年期・青年期における銀河形成・大規模星生成現象をミリ波高感度高効率サーベイ観測によって解明することを目的としている。そのために世界最先端のミリ波撮像分光装置を開発し、最大のミリ波望遠鏡に設置してサーベイ観測を行う計画である。応募者らはこれまで、遠方の大規模銀河に含まれる炭素イオンや一酸化炭素分子などの観測によって、形成途上の銀河の性質を解明しつつあり、成果は世界的に高く評価されている。センサー開発の第一人者が参加するなど技術的基盤も妥当である。</p> <p>以上の理由により、基盤研究（S）として推進することが適当と判断した。</p>